

佐賀県施策方針
2023－2026
(仮称)

素案

令和5年4月 佐賀県

NEXT佐賀 ～新時代を切り拓く～

かつて佐賀は、3つの時代で輝きを放っていました。クニの始まりである弥生時代における象徴的存在の吉野ヶ里遺跡、安土桃山時代に綺羅星のごとく武将が集結し、様々な日本文化の“はじまりの地”となった肥前名護屋城、そして幕末維新时期において、最先端の科学技術力と人材育成で近代日本の礎を築いた佐賀藩です。時代の変革期に佐賀は歴史の主役でした。

そして今、私たちは時代の変革期にいます。新型コロナウイルスの感染拡大、飛躍的なデジタル化の進展、国際情勢の不確実性の高まりなどは、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。さらに近年は気候変動により自然災害が頻発化・激甚化しています。このような中で、私は引き続き、県民の命と暮らしを守ることに全力を尽くしていきます。

これまで佐賀の未来にとって大切なこと、必要なことについては果敢にチャレンジしてきました。「自発の地域づくり」や「子育てし大県“さが”プロジェクト」、「SSP構想」、「森川海人っプロジェクト」、「歩くライフスタイル」など、様々なプロジェクトが芽を出し、力強く育ってきています。

道路、空港、港湾など人とモノをつなぐネットワークが広がり、SAGAサンライズパークもいよいよグランドオープンを迎えます。SAGAアリーナでは佐賀県初となるイベントが続々と決定しており、新たなドラマと唯一無二の感動が生み出されます。

人々が集い新たな交流が生まれるまさに今、大切に育ててきた芽を花開かせていきます。

今般、様々な場面で県民の皆さまから伺った意見を踏まえ、「佐賀県施策方針2023-2026」を創ります。この施策方針では、大きな方向性を示しながら、環境の変化に応じ、機動的かつ柔軟に対応していきます。

過去の延長線上には、佐賀の更なる飛躍はありません。時代の大きなうねりの中で、佐賀が新時代の旗手として日本をリードしてきたように、これから県民の皆さまと共に新たな時代を佐賀から切り拓いていきます。

佐賀県知事

山口祥義

1 基本理念と佐賀県の未来の姿

1	基本理念	3
2	佐賀の目指す8つの未来の姿と実現に向けた主な取組	4
	「守ろう！」 先どる危機管理 安全・安心のまち	
	「支えよう！」 支え合い、寄り添う やさしい地域	
	「育もう！」 かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来	
	「交わろう！」 動き出す 人とモノをつなぐネットワーク	
	「挑もう！」 新たな価値を生み 挑戦を続ける産業	
	「創ろう！」 スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造	
	「輝こう！」 いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地	
	「志そう！」 志を胸に 骨太な人材の育成	
3	“佐賀らしさ”を磨くためのアプローチ	8
	さがデザイン	
	さがすたいる	

2 佐賀県の施策

1	未来に向けた重点プロジェクト	9
	①救える命を救う取組	
	②子育てし大県“さが”プロジェクト	
	③森川海人っプロジェクト	
	④個性あふれる山の輝きの創造	
	⑤歩くライフスタイル	
	⑥佐賀で輝く人材×産業の創出	
	⑦さが園芸888運動	
	⑧SAGAスポーツピラミッド構想	
	⑨交流拠点“さが”	
	⑩デジタル実証フィールド“さが”	
2	8つの未来の姿の実現に向けた施策	14
	(1) 分野ごとの施策	
	(2) SDGsの取組	

3 県政運営の基本姿勢と佐賀を取り巻く環境

1	県政運営の基本姿勢	21
	(1) 県政運営のキーワード	
	(2) 取組推進にあたっての基本姿勢	
2	佐賀を取り巻く環境	22
	(1) 佐賀の魅力	
	(2) 社会経済情勢	

基本理念と佐賀県の未来の姿

1 基本理念

県政を進めていくためには、人に寄り添い、人と対話し、これまで受け継がれてきた人の「想い」を感じ取りながら、次の世代へ繋げていくことが大切です。

また、佐賀には、歴史や文化、美しい自然、豊かな食文化、地域の絆、陶磁器など、「本物」の地域資源があります。これらの“佐賀らしさ”の価値を私たち自身が再認識し、人から人へ伝えていくことがその価値を一層輝かせることになります。

これからも世界に自信を持って誇れる佐賀をつくっていきたいという想いを込め、「佐賀さいこう！」をキャッチフレーズに、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を引き続き基本理念に掲げます。

基本
理念

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり



守

ろう!

先じる危機管理
安全・安心のまち

挑

もう!

新たな価値を生み
挑戦を続ける産業

支

えよう!

支え合い、寄り添う
やさしい地域

創

ろう!

スポーツ新時代の創出
佐賀らしい文化の創造

育

もう!

かかわりあう子育て
笑顔あふれる未来

輝

こう!

いきいきと自発の地域づくり
唯一無二の地

交

わろう!

動きだす 人とモノを
つなぐネットワーク

志

そう!

志を胸に
骨太な人材の育成

さがデザイン

さがすたいる

2 佐賀の目指す8つの未来の姿と実現に向けた主な取組

基本理念に掲げる佐賀を目指すため、8つの未来の姿を描き、すべての基軸に人を置き、施策を推進していきます。

また、国際社会全体の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」や我が国が目指す未来社会である「Society5.0」を意識しながら、施策に取り組んでいきます。

守
ろう！

先どる危機管理 安全・安心のまち



県民の命や豊かな暮らしの礎である「山」を守るなど、地域の協力により先手先手で自然災害等を未然に防止する対策が進んでいる。大きな自然災害や新たな感染症が発生した場合でも、全国1位の高い組織率を誇る消防団や医師会等との連携により、速やかに命を守るチーム佐賀・オール佐賀の体制が整えられており、地域と行政が力を合わせて対応にあたり、被害や影響を最小限に抑えている。

県民全体で交通事故や犯罪等の防止に取り組んでおり、森・川・海とつながる豊かな自然環境の中で、県民が安心して暮らしている。



消防団員の確保
主な取組



SAGA Doctor-S プロジェクト

- ・消防団員の確保
- ・SAGA BLUE PROJECT
- ・医療機関との連携体制づくり
- ・プロジェクトIF
- ・SAGA Doctor-S プロジェクト
- ・森川海人プロジェクト など

支
えよう！

支え合い、寄り添う やさしい地域



年齢や性別、国籍、障害のあるなしといった様々な「ちがい」がある中で、それぞれが尊重しあい、自然に支え合っている。一人一人の痛みや想いに寄り添いながら多様な意見を取り入れて、佐賀らしいやさしさが広がって、誰もが自分らしくいきいきと暮らしている。



医療的ケア児支援

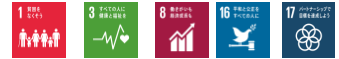


パートナーシップ宣誓制度

- ・さがすたいるの推進
- ・医療的ケア児支援
- ・パートナーシップ宣誓制度
- ・介護人材の確保
- ・がん検診の受診促進
- ・難病患者への支援体制の充実 など

育 もう！

かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来



すべての人が、様々な幸せのかたちを大切にしながら、佐賀での生活、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てを楽しんでいる。

男性も女性も家事や子育てに主体的にかかわり、職場や地域の人々も、子育て世代を積極的に応援し見守っている。サポート体制が充実し、親は一人で悩むことなくいきいきと笑顔で子育てをしている。



出会い・結婚応援



保育士等の人材確保、質の向上

主な取組

- ・ 出会い・結婚応援
 - ・ 保育士等の人材確保、質の向上
 - ・ マイナス1歳からのイクカジ
 - ・ アプリを活用した子育て支援
 - ・ 不妊・不育症治療支援
 - ・ 新刊児童書の全点購入
- など

交 わろう！

動きだす 人とモノをつなぐネットワーク



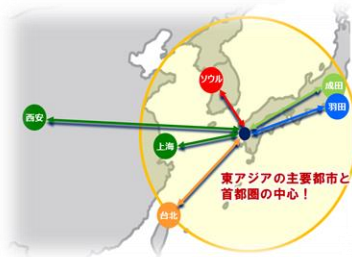
有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道等の整備が進んでおり、九州佐賀国際空港や唐津港・伊万里港とともに、交流ネットワークが形成されている。

滑走路延長等で海外路線が増える九州佐賀国際空港を中心に、筑後・佐賀エリアが有明海沿岸道路で結ばれて北部九州の新たな発展軸として重要な役割を果たしている。

鉄道やコミュニティバス等の公共交通が地域の移動手段として維持されており、住民や国内外からの観光客の交流が盛んになっている。



広域幹線道路の整備



世界とつながる九州佐賀国際空港

主な取組

- ・ 有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道等の整備
 - ・ 九州佐賀国際空港の利活用促進、滑走路延長（2,500m化）
 - ・ 身近な道路（通学路等）の整備
 - ・ 地域における多様な移動手段の確保
 - ・ 唐津港・伊万里港の利活用促進
- など

挑
もう!

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業



スタートアップや成長産業の育成・集積が進み、DX・GXの推進とともに、地域資源を活用したビジネス、中小企業や伝統産業の新たなチャレンジが活発化することにより、新たな価値を生み出すとともに、その価値を創り出す人材が集い、活躍している。

園芸・畜産を軸に「磨き、稼ぎ、つながる農業」が展開され、林業・水産業を含めブランド化やスマート化が進んでいく中で、持続可能な経営スタイルが確立し新たな担い手を呼ぶ好循環が生まれている。



Startup Gateway SAGA
コミュニティイベント



農林水産物のブランド化

主な取組

- ・高校生の県内就職促進
- ・半導体等の成長産業の育成・集積
- ・伴走支援によるDXやGXの推進
- ・スタートアップの発掘・育成
- ・さが園芸888運動
- ・農林水産物の担い手確保育成、スマート化
- ・佐賀牛の輸出促進 など

創
ろう!

スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造



人々が「する」「育てる」「観る」「支える」といった自分なりのスタイルでスポーツに関わっており、スポーツビジネスの創出など新しいスポーツシーンが佐賀から始まっている。

SAGAサンライズパークでは、スポーツや文化による新たな感動が生まれている。

人々が多彩な文化芸術活動に触れ、文化的・歴史的資産が大切に継承され、それら本物の魅力や唯一無二の体験が国内外に発信され多くの人々を魅了し、新たな交流が生まれている。



SSP (SAGAスポーツピラミッド) 構想

文化・芸術等の活動拠点
(市村記念体育館)の整備

主な取組

- ・SSP構想の推進
- ・スポーツビジネスの創出
- ・プロスポーツ支援
- ・SAGA2024の開催
- ・文化・芸術等の活動拠点の整備
- ・佐賀さいこうフェスの開催
- ・「はじまりの名護屋城。」プロジェクト
- ・吉野ヶ里遺跡の発掘、情報発信 など

輝 こう!

いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地



人々が地域の歴史や文化、自然、豊かな食、伝統など、唯一無二の素晴らしさに気づき、大きな誇りを感じている。

国籍や民族などの異なる人々が、文化的背景や多様な価値観の違いを尊重しながら地域の一員として活躍する多文化共生の社会が創られている。

佐賀が持つ本物の価値がデザインやコラボの手法で広く情報発信され、そこに惹かれた人々が世界中から佐賀県を訪れている。



自発の地域づくり
(吉田皿屋ひかりぼし)



企業・ブランドとのコラボ

主な取組

- ・自発の地域づくり
- ・観光の高付加価値化
- ・企業・ブランドとのコラボ
- ・多文化共生
- ・MICE誘致の促進
- ・CSO連携支援、誘致 など

志 そう!

志を胸に 骨太な人材の育成



子どもたちは、学びや様々な体験を通して佐賀の自然や歴史を感じ、志豊かな若者となり、佐賀や世界で活躍している。

県内の学校はそれぞれにある唯一無二の特色を活かし、その魅力を感じた県内外からの生徒で活気にあふれている。

県内の高等教育機関から多くの専門的で多様な人材を県内事業所に輩出している。



唯一無二の誇り高き学校づくり



SAGA部活の推進

主な取組

- ・唯一無二の誇り高き学校づくり
- ・私立学校の魅力づくり
- ・弘道館2
- ・県立大学の調査・検討
- ・SAGA部活の推進
- ・県立夜間中学の開校 など

3 “佐賀らしさ”を磨くためのアプローチ

施策推進にあたっては、2つのアプローチにより、“佐賀らしさ”を磨き上げ、取り組んでいきます。

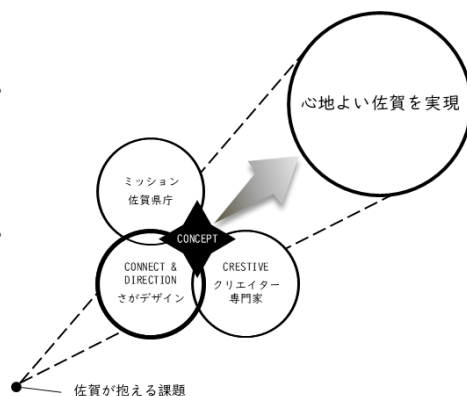


さがデザイン
さがをみがくしくみ

さがデザイン

県産品や街並みなどの「モノ」と、社会のシステムやサービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする。

- さがデザインの領域は、ポスターやパッケージなどを単に「見た目をよくすること」ではありません。
- コンceptメイクや具体的な解決策の提案、そして誰もが心地よく関われる場づくりまで、「一貫した軸」を通して、心地よい佐賀を実現していきます。
- 県の職員とクリエイターが協働することで、ミッションとコンセプトを明確にし、デザイン思考で佐賀県全体を良くしていきます。



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

さがすたいる

多様な人々が交流し、相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、みんなが自然に支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていく。

- 佐賀県には、年齢、性別、国籍、障害の有無など、いろいろな個性があり、いろいろな想いをを持った80万人の県民が暮らしています。
- みんながお互いの想いに寄り添い、自然に支え合う、そんな佐賀らしいやさしさのカタチが「さがすたいる」。
- お年寄りや障害のある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく過ごせる、やさしさにあふれた佐賀県を実現していきます。



Ⅰ 未来に向けた重点プロジェクト

今後4年間で特に力を入れていく「佐賀ならではの」「佐賀だからできる」重点プロジェクトを示します。

① 救える命を救う取組（災害対策、交通安全対策、がん対策）

【災害対策】

（目指す未来の姿）

風水害、震災、火災、原子力災害等に対して、河川、土砂災害防止施設、海岸保全施設及び農業水利施設の整備・保全、水防情報・土砂災害情報の提供など、ハード・ソフト両面の対策が進み、自助、共助、公助の適切な連携により、迅速かつ的確に対応でき、県民が安心して暮らせるまちになっている。

（主な取組）

- ・市町等と連携した消防団員の確保や県民の防災意識の向上（消防団のPR、CSOと連携した研修 など）
- ・河川、クリーク、ため池などの整備・維持管理
- ・プロジェクトIF（浸水センサー等整備、田んぼダムの推進、ため池・ダム等の事前放流 など）



【交通安全対策】

（目指す未来の姿）

県民一人一人が交通事故防止を自らの課題として認識し、交通ルールの遵守を実践して、交通事故のない安全・安心な社会となっている。

（主な取組）

- ・SAGA BLUE PROJECT（様々な媒体を活用した注意喚起・啓発、路面表示のカラー化などのハード整備 など）
- ・危険箇所における防護柵等の安全施設の整備 など



【がん対策】

（目指す未来の姿）

県民ががんをはじめとする生活習慣病の予防に努め、定期的ながん検診を受診している。

また、がんになっても、早期に適切な治療を受けることができ、療養生活と社会生活を両立している。

（主な取組）

- ・がん検診の受診率向上
- ・肝炎ウイルス検査・定期検査の受診促進
- ・女性のがん（乳がん、子宮がん）対策の推進 など



②子育てし大県“さが”プロジェクト

(目指す未来の姿)

社会全体が子育てを支え、誰もが安心して楽しみながら子育てができ、佐賀で生まれ育つ次世代を担う子どもたちの権利が守られ、佐賀への「肯定感」「郷土愛」「誇り」を持って骨太で健やかに成長している。

(主な取組)

- ・結婚を希望する人を応援する気運の醸成
(出会いサポートセンター、若者向けライフデザインセミナーなど)
- ・妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援
(アプリを活用した相談支援、不妊・不育症治療支援 など)
- ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進
(マイナス1歳からのイクカジ、共家事 など) など



③森川海人っプロジェクト

(目指す未来の姿)

県民が「森・川・海はひとつ」との意識を持ち、佐賀の豊かな自然を人が未来につなげるため、森・川・海を保全する行動を取っている。

(主な取組)

- ・環境保全意識を醸成する取組の推進
(イベントを通じた普及啓発、プラスマLifeさが など)
- ・県民協働による多様な森林(もり)づくり
(CSOなどとの連携による森林づくり、間伐や植栽の促進など)
- ・県民協働による河川、海域の環境保全
(クリーンアップ作戦、稚魚の放流 など) など



④個性あふれる山の輝きの創造

(目指す未来の姿)

すべての人に恩恵をもたらす源流である「山」を大切にする意識が高まり、様々な人々による自発的な山での活動“山活”の輪が広がることで地域が活性化しており、域外の方からも共感される輝く地域となっている。

(主な取組)

- ・地域住民とともに山の素晴らしさの発信
(山の会議(仮)開催、山の魅力発信 など)
- ・山で暮らす人々が安心して永く住み続けられるための取組の推進
(農林業を支える人材確保、地域の特性を活かした農業の展開 など) など



⑤歩くライフスタイル

(目指す未来の姿)

住民や佐賀を訪れる人が公共交通を利用してまちなかを歩くことで、人的交流の促進や地域の活性化につながっている。

また、自家用車ではなく、徒歩、自転車、公共交通で移動することで、住民の健康増進や温室効果ガスの削減、交通渋滞の緩和等にも寄与している。

さらに、多様な移動手段が、地域の実情に応じた持続可能な形で確保されている。



(主な取組)

- ・徒歩や自転車、公共交通での移動を積極的に選択してもらうための仕掛けづくり
(SAGATOCOの活用、Ma a Sの推進 など)
- ・人が歩きたくなる環境づくり
(ARKSの活用、幅の広い歩道の整備 など)



⑥佐賀で輝く人材×産業の創出

(目指す未来の姿)

佐賀で学び、佐賀で働きたい若者が増え、その能力を十分に発揮しながら、佐賀県の成長を担う様々な産業分野や地域経済の担い手として活躍している。

(主な取組)

- ・戦略的企業誘致の推進
(デジタル、グリーン、ヘルスケア分野などの企業誘致)
- ・産業人材の育成・確保
(プロジェクト65+、UJIターン人材確保 など)
- ・高等教育機関の充実
- ・イノベーションの推進(産業スマート化センター など)
- ・スタートアップの発掘・育成(DX、GXの伴走支援 など)
- ・成長産業の育成・集積
(さが半導体フォーラム、コスメティック構想 など)
- ・産業活力の向上(高付加価値化、生産性向上支援 など)
- ・中小企業の経営支援
(事業の高付加価値化支援、円滑な事業承継の推進 など)
- ・地域資源の更なる磨き上げ、高付加価値化への取組 など



⑦さが園芸888運動

(目指す未来の姿)

収益性の高い園芸作物を生産・販売し、稼ぐ農業を実践している農業経営体が増えている。

また、稼ぐ農業経営体の姿を見て新たな担い手が就農し、産地の活性化につながる好循環が生まれている。



(主な取組)

- ・露地野菜の生産拡大
(集荷作業の省力化、新規品目導入の推進 など)
- ・園芸団地の整備
(まとまった農地と団地入植者の確保 など)
- ・果樹園地の拡大
(平坦地における園地整備、高品質生産方式の拡大 など)
- ・担い手の確保・育成
(トレーニングファームの取組拡大、企業・法人の農業参入の推進 など) など



⑧SAGAスポーツピラミッド構想

(目指す未来の姿)

佐賀で育ったトップアスリートが、世界大会や全国大会で活躍し、県民の誇りとなるとともに、引退後は指導者として次世代のアスリートを育成している。

また、県民がスポーツの「する」「育てる」「観る」「支える」のいずれかに何かしらの形で関わり、新しいスポーツビジネスが創出されるといった好循環が生まれ、日本で初めての世界標準のスポーツのチカラを活かした「人づくり」「地域づくり」が進んでいる。



(主な取組)

- ・アスリート・指導者の育成
(個人伴走支援、科学的(デジタル技術活用など)な育成支援 女性アスリート支援 など)
- ・アスリート・指導者の佐賀定着に向けた取組
(アスリートジョブサポ、企業等とのマッチング など)
- ・新たなスポーツビジネスの創出
(企業とスポーツチーム等のマッチング など) など



⑨交流拠点 “さが”

(目指す未来の姿)

県民が佐賀への誇りと愛着を持って、訪れる人を迎え入れることで、訪れる人が心地よく感じるまちづくり・地域づくりが進むとともに、人・モノの交流が促進され、地域の活力が生まれている。



(主な取組)

- ・地域資源の磨き上げ、情報発信
(個人旅行者への対応、アニメ・ゲームとのコラボ など)
- ・人の交流の促進
(MICE誘致促進、OPEN-AIR佐賀 など)
- ・交通ネットワークの整備
(Tゾーンの整備、滑走路延長(2,500m化)、多様な移動手段の確保 など) など



⑩デジタル実証フィールド “さが”

(目指す未来の姿)

あらゆる分野でデジタル技術の活用が進み、誰もがどこでも便利で快適に暮らせる社会となっている。

佐賀県全体がデジタルの実証フィールドとなり、県内外の多様な人材が様々なチャレンジを行いながら、新たな価値を創造し、新しい社会システムを構築している。



(主な取組)

- ・デジタル先進技術の実証にチャレンジ
(自動運転、ドローン、XR、衛星データ活用 など)
- ・あらゆる分野でデジタルを活用し社会課題を解決
(スマート農林水産業、災害対策、アスリート育成 など) など



2 8つの未来の姿の実現に向けた施策

(1) 分野ごとの施策

8つの未来の姿の実現に向けた26施策分野77施策を示します。



先どる危機管理 安全・安心のまち

施策分野	施策	主な取組
(1) 防災・減災・ 国土保全	①防災・減災等の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市町と連携した消防団員の確保 ・地域防災力の充実・強化 ・県民の防災意識や災害対応力の向上
	②玄海原子力発電所の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策や廃止措置の実施状況確認 ・放射線・放射能調査及び情報提供
	③くらしを守る治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備、適切な維持管理
	④命を守る土砂災害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害防止施設の整備、適切な維持管理
	⑤くらしを守る海岸保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸堤防の整備・侵食対策、適切な維持管理
	⑥農村地域における防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・クリークやため池等の整備、地すべり対策 ・クリーク等の事前放流、田んぼダムの推進
	⑦次世代へつなぐ強靱な道路の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路等の維持補修 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕の推進
(2) くらしの安全・安心	①交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「SAGA BLUE PROJECT」の推進 ・幼児から高齢者までの交通安全教育、交通安全施設の整備
	②犯罪の起きにくいまちづくりと犯罪被害者等支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪防止の取組推進 ・薬物乱用防止教育の充実 ・犯罪被害者等への支援充実
	③消費生活の安定向上	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動及び事業所指導の一体的な展開 ・消費者被害の防止 ・消費者教育の充実
	④食品等の安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の衛生管理の徹底、県民の意識啓発の推進 ・GAPの取組推進 ・事業者の食品表示適正化の推進
	⑤生活衛生対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活衛生関係営業施設・温泉施設への監視指導 ・地域猫活動、犬猫の譲渡推進
	⑥安全・安心な建物と住まいの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・既存住宅の利活用推進 ・建物の耐震化
	⑦くらしを支える水の安定供給の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や生産・産業活動の源となる水の安定供給 ・水道管路更新の促進 ・ダム等施設の適切な維持管理
(3) 医療	①医療の安心を未来につなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・病床機能の分化・連携等の推進 ・医療従事者の人材確保、負担軽減
	②感染症対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の連携体制構築 ・県民の感染症に関する正しい知識や情報の普及啓発
	③安全有効な医薬品等の安定供給の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・監視指導体制の維持・向上 ・献血者の確保
	④安心して暮らせる国民健康保険制度の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費適正化の推進



先どる危機管理 安全・安心のまち

施策分野	施策	主な取組
(4) 環境	①カーボンニュートラルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素型ライフスタイルへの転換促進 ・森林吸収源対策としての間伐・植栽の促進 ・佐賀大学と共同の取組（CIREn）推進
	②生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・大気・水環境保全のための工場等への監視指導 ・生活排水処理の最適化
	③自然環境の保全と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園等の保全・利用促進 ・希少野生動植物の保護
	④有明海の再生	<ul style="list-style-type: none"> ・環境変化の原因究明、水産資源回復 ・関係団体と連携した海域環境への負荷軽減
	⑤多様な森林（もり）・緑づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐・植栽の促進、公的森林整備の促進 ・県民協働による森林づくり、緑づくりの推進
	⑥廃棄物の減量化と適正処理による資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「プラスマLifeさが」の展開 ・リサイクル推進



支え合い、寄り添う やさしい地域

施策分野	施策	主な取組
(1) 福祉	①住民とともに支える地域共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する福祉ニーズへの支援体制づくり ・生活困窮者の自立支援
	②高齢者がいきいき活躍する佐賀づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加促進 ・介護人材の確保 ・認知症の医療的支援、高齢者の権利擁護
	③障害者を支える福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者との交流促進 ・地域生活支援拠点等の充実 ・医療的ケア見支援
	④障害者がいきいき働ける就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労支援 ・農福連携の推進
(2) 健康	①生涯を通じた健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県民運動等による健康づくり支援 ・食育の推進 ・こころの悩みを抱える方への相談体制の充実
	②がんを生きる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の充実及び受診率の向上 ・女性のがん対策の推進 ・肝炎ウイルス検査等の受診促進
	③難病患者に寄り添った支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・難病患者への相談体制の充実 ・レスパイト入院等の支援 ・難病患者の就労支援
人権・共生 (3)	①一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育・啓発の推進 ・人権問題に関する相談・支援体制の充実
	②ジェンダー平等・男女共同参画の社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等の社会づくりに向けた意識の形成 ・女性活躍の推進 ・DV被害等の防止と支援の充実
たさがいる (4)	①さがすたいの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々の交流機会の創出 ・想いを広める情報発信



かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来

施策分野	施策	主な取組
(一) 子育て	①結婚や出産の希望が叶う環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚への前向きな気運の醸成 ・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援
	②子ども・若者を支え育てる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の人材確保、質の向上 ・子どもたちが骨太で健やかに学び育つ環境づくり
	③配慮が必要な子ども・若者や家庭に寄り添う環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の早期発見や家庭的環境での養育推進 ・妊産婦や日常生活が困難な児童への支援 ・困難を抱えた子ども・若者の自立支援



動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

施策分野	施策	主な取組
(一) 交通	①未来を拓く幹線道路ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路、佐賀唐津道路等の整備
	②くらしに身近な道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道等の整備 ・道路の拡幅やバイパスの整備
	③地域における多様な移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段確保の検討・見直しを行う市町等の支援
	④公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用の機運醸成 ・利用しやすい環境整備
	⑤九州佐賀国際空港の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・空港利活用の促進 ・国内外への積極的誘致活動 ・滑走路延長(2,500m化)
	⑥唐津港・伊万里港等の利活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・新規航路開設など港湾の利便性向上 ・港湾施設の機能強化



新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

施策分野	施策	主な取組
雇用・労働 (1)	①産業人材の育成・確保と魅力ある職場づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、大学生等の県内就職促進 ・UJIターン人材の確保 ・「ワーク・ライフ・バランス」の推進
(2) 農業	①稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・さが園芸888運動の推進 ・肉用牛の生産基盤の強化 ・地域の営農ビジョンを実現する基盤整備の推進
	②次世代の農業の担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある新規就農者の確保 ・経営力のある担い手の育成や女性農業者の活躍推進 ・優良農地の確保・集約
	③活力ある農村の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・食や農業・農村に対する理解促進とイメージアップ ・中山間地域農業対策の推進 ・有害鳥獣被害対策の推進
林業 (3)	①持続可能な林業の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の生産拡大、サガンスギでの再造林等推進 ・林業担い手の確保・育成 ・県産木材の利用推進
水産業 (4)	①玄海・有明海における魅力ある水産業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・玄海、有明海の水産資源回復 ・漁業のスマート化 ・新規就業者の確保
(5) 企業立地・商工業	①成長産業の育成・集積	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の成長産業分野への参入促進 ・成長産業分野の企業誘致
	②産業用地の確保と企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用地の整備推進 ・地域の活力向上や経済成長につなげる企業誘致
	③産業DXの推進とスタートアップの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの「裾野」拡大 ・起業家掘り起こし、ビジネス創出、機会提供充実
	④ものづくり産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり企業の生産性向上や販路拡大の支援 ・ものづくりの魅力発信
	⑤地域資源を活用した産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の高付加価値化・ビジネス化の取組支援 ・研究開発・人材育成推進
	⑥中小企業の持続的発展、事業の高付加価値化に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・金融の円滑化 ・経営改善・経営力強化の支援 ・事業承継の推進
エネルギー (6)	①再生可能エネルギー等先進県の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学と共同の取組(CIREN)推進 ・企業の水素エネルギーへの転換促進 ・再エネ意識向上、県内発の技術等の普及拡大促進
流通 (7)	①佐賀県産品の国内外での販売促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産物や佐賀酒、陶磁器等のブランド力向上と販売促進 ・アジアや欧米等への県産品の輸出促進



スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造

施策分野	施策	主な取組
スポーツ (1)	①トップアスリートの育成と地域が元気になるスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や練習環境充実等の推進 ・SSP構想の賛同企業等開拓 ・トップレベルチーム等の支援を通じた地域活性化 ・SAGA2024の開催
	②スポーツビジネスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プロチームと企業のマッチングなど新たなビジネス創出
(2) 文化	①多彩な文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動に触れ、自ら取り組む機会創出 ・文化芸術を通じた交流 ・障がい者の文化芸術活動を通じた社会参画促進
	②豊かな文化・歴史の継承と魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化の磨き上げによる交流人口増加 ・県民の郷土への愛着や誇りの醸成 ・文化的・歴史的魅力の国内外に向けた発信



いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地

施策分野	施策	主な取組
地域づくり (1)	①自発の地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自発の地域づくりの取組を支援 ・移住促進
	②快適で暮らしたくなるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・都市施設の計画的整備と利活用の推進 ・県民・市町・CSOによる景観づくりの取組支援
国際化 (2)	①外国人とともに暮らす佐賀づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な多文化共生の地域づくり ・地域日本語教室等の場の活性化
	②世界における佐賀の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀の魅力の海外への発信 ・海外活力の取り込み
観光 (3)	①魅力ある観光地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした魅力づくり推進 ・受入環境の充実 ・効果的な情報発信
	②MICE誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学会などMICE誘致の推進
発信情報 (4)	①地域資源の魅力創出・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なコンテンツ創出やプロモーションの実施 ・評価されたコンテンツ等を県内へフィードバック
協働県民 (5)	①多様な主体による協働社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・CSO・企業の協働推進 ・県外で活躍するCSOの誘致



志を胸に 骨太な人材の育成

施策分野	施策	主な取組
(一) 教育	①志と誇りを高める教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・唯一無二の誇り高き学校づくり ・キャリア教育の充実 ・佐賀への誇りや深い愛着を持った人材の育成
	②自分らしく学べる「さがん学び」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の推進 ・中高生の海外での挑戦や外国人児童生徒に対する支援
	③健やかな佐賀の子どもを育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体力等の向上 ・健康教育の充実 ・SAGA部活の推進 ・道徳教育、人権・同和教育等の心の教育の充実
	④誰もが安心して学べる「さがすたいるスクール」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実 ・県立夜間中学の開校 ・不登校・いじめの相談体制の充実
	⑤教育DXの推進と学びを支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用し課題解決に向かう力の育成 ・教員の確保、指導力ある教員の養成
	⑥私立学校の魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校づくりの取組、魅力発信支援 ・県外流出防止、県内職業人材の確保 ・専修学校支援
	⑦高等教育機関の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・県内高等教育機関の魅力向上 ・県内企業等と連携した人材育成・確保 ・県立大学の調査・検討
学生(二) 生涯(二)	①ライフステージに応じたまなびの環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの機会の充実 ・地域における体験・交流活動支援 ・誰もが本に親しむ環境づくりの充実

(2) SDGsの取組

国際社会全体の目標でもある「持続可能な開発目標（SDGs）」については、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

この理念は、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」という佐賀県の基本理念と方向性が同じです。

SDGsの取組は、個人や事業者、団体、行政が、持続可能な社会を実現していくために、それぞれの立場で「できること」を「自分ごと」としてやっていくことが大切です。

そのため、8つの未来の姿の実現に向けた77の施策の推進にあたっては、関連するSDGsを意識しながら取り組んでいきます。

その中でも、下に示すような佐賀の土壤に合った佐賀らしいやり方で、CSOや事業者の方々と連携しながら、「佐賀版SDGs」を進めていきます。



森川海人プロジェクト



「森・川・海はひとつ」であり、山と海のつながりを感じながら、県民協働により、佐賀の豊かな自然を未来につないでいきます。

歩こう。佐賀県。

歩くライフスタイル



「歩こう。佐賀県」をスローガンに、歩くことや自転車、公共交通などマイカー以外の移動手段を暮らしの中に取り入れる取組。歩くことで健康が増進され、歩くライフスタイルの転換により、CO₂の排出が削減につながります。



さがすたいる



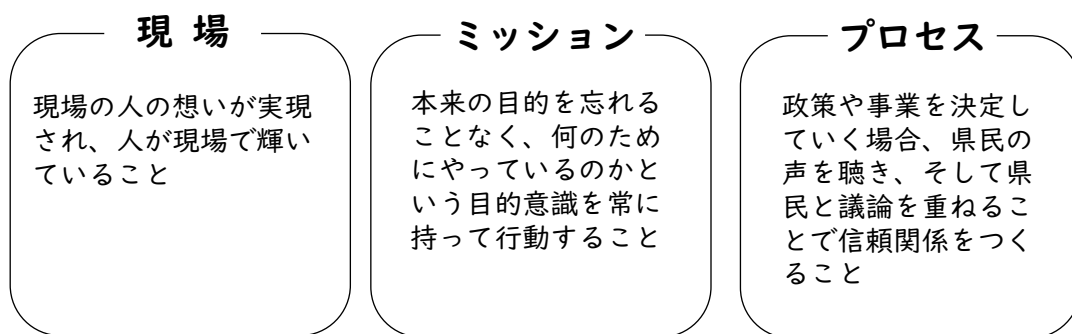
障害のある方など当事者の意見を取り入れた人にやさしい施設やサポート体制を広めていきます。また、障害のある方も高齢者、子育て・妊娠中の方なども安心して参加し、楽しめるイベントなどを実施し、県民一人一人がお互いを知り、認め合い、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、みんなが自然に支え合い、心地よく過ごせる佐賀らしい社会を実現していきます。

施策を推進するに当たって、県庁組織と県職員の基本姿勢、佐賀を取り巻く環境について示します。

I 県政運営の基本姿勢

(1) 県政運営のキーワード

佐賀県庁の存在意義は、県民一人一人の幸せの向上であり、その目的を達成するため、現行の制度やルール等について、県民のためになっているか、現場の実態と乖離がないか等を常に意識し、県民目線で議論を行うとともに、透明で信頼される県政を推進します。



(2) 取組推進に当たっての基本姿勢

① 県民と地域が主役の佐賀づくり

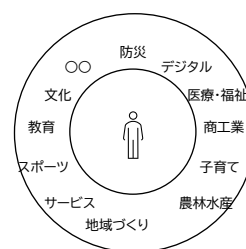
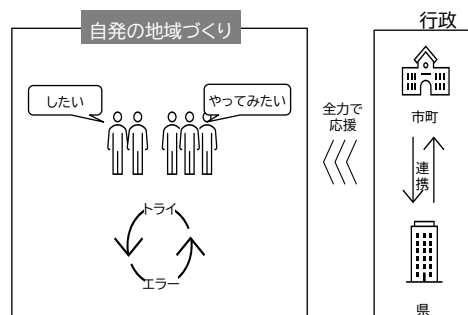
- ✓ 県民と地域が主役
- ✓ 市町との連携

② 県民から信頼される県庁づくり

- ✓ 人が中心の県政
- ✓ コンプライアンス
- ✓ 危機管理体制

③ 行財政運営

- ✓ 効果的かつ効率的な行政運営
- ✓ 安定的かつ弾力的な財政運営



2 佐賀を取り巻く環境

(1) 佐賀の魅力

① 地理的優位性

- ・東アジア諸国の主要都市に近接
- ・成長を続ける空と海の良港
- ・九州の人とモノをつなぐ交通の要衝 など

④ 産業

- ・ものづくりのDNAが脈々と受け継がれている
- ・県独自のDX推進とスタートアップ発掘・育成
- ・デジタル社会を支える半導体の「素材王国」
- ・長年の研究の成果
「サガンスギ」「にじゅうまる」「いちごさん」
など

② 交流拠点

- ・唯一無二の感動と心躍る体験
「SAGAサンライズパーク」
- ・カジュアルに自然を体感
「OPEN-AIR佐賀」 など

⑤ 自然

- ・人々に恵みをもたらす源流
「天山、多良岳など緑豊かな山々」
- ・2つの豊饒な海
「有明海、玄界灘」 など

③ 歴史・文化

- ・我国で唯一、クニの成り立ちがわかる
「吉野ヶ里遺跡」
- ・日本文化発展の“はじまりの地”
「肥前名護屋城」
- ・近代日本の礎を築いた
「幕末維新の佐賀」 など

⑥ 人と人との強い絆

- ・組織率全国1位
「消防団」
- ・地域のコミュニティ
「三夜待」 など

(2) 社会経済情勢

① 人口変動

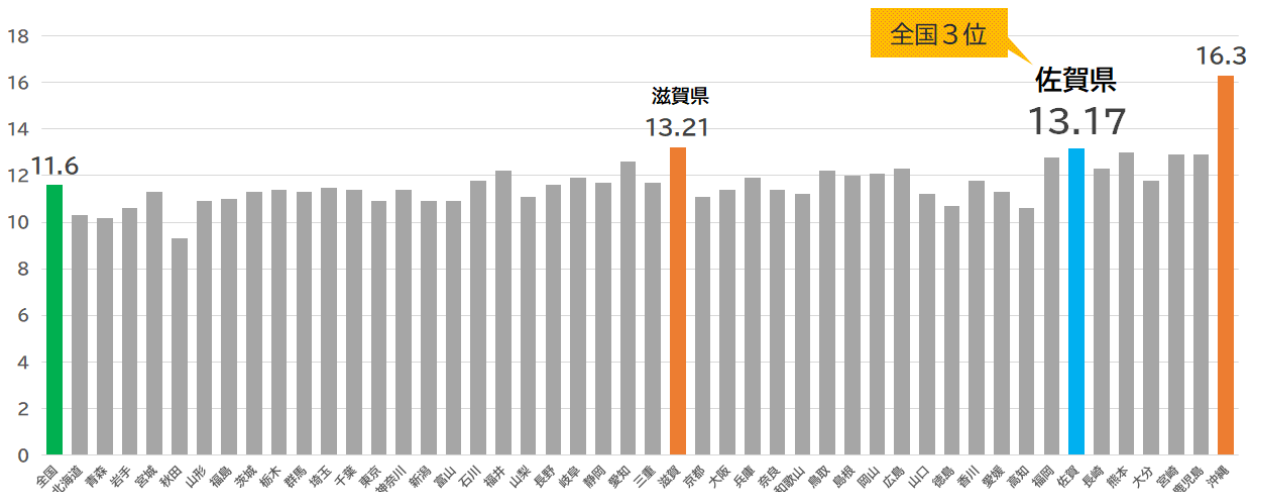
<現状>

- ・15歳未満の子どもの数は、対人口比で全国3位
- ・大学に進学する約3,400人のうち、8割以上が県外へ進学
- ・10代後半～20代前半の県外転出超過が続いているが、30代、40代の子育て世代は転入が多い

<将来予測>

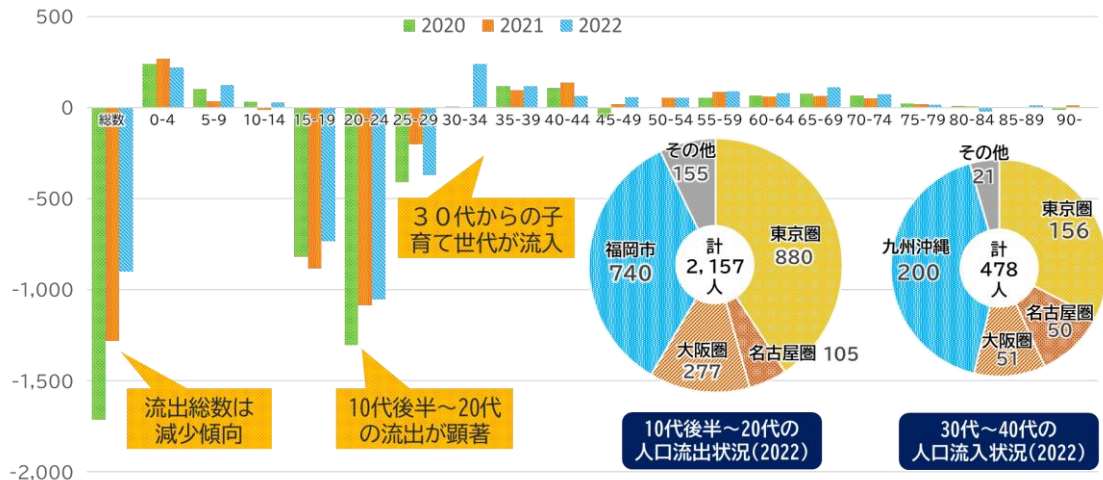
- ・若い世代の県外転出を抑制するとともに、県内流入を促進させる取組が重要

図1 年少人口(15歳未満)の割合



(出典：総務省「人口推計」)

図2 年代別社会増減



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

② デジタル化

<現状>

- ・IoT、人工知能(AI)といった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術が進展する中、新型コロナウイルスの感染が拡大
- ・日常に様々な制約が生じる中、非接触・非対面による活動が実現可能なデジタル技術を活用することで、以前と同様の生活・経済を維持することができるとともに、従前とは異なったビジネスや生活スタイルも浸透し、従来から進められていたデジタル化がコロナ禍を契機に様々な場面で急速に進展

<将来予測>

- ・担い手不足、人口減等による市場の縮小などの課題に対し、限られた労働力でより多くの付加価値を生み出すなど、デジタルの力を活用した社会課題の解決に向けた取組が重要

③ 人の流れ

<現状>

- ・都市部中心の価値観は大きく変化。東京一極集中から地方へ変化
- ・佐賀県の外国人観光客は、2019年には125万9千人まで増加したものの、新型コロナによる入国制限により大きく減少。入国の規制緩和により、訪日外国人の早急な回復が期待
- ・九州佐賀国際空港の国際線利用者数は、コロナ禍前までは、滑走路2,000m空港の中で全国1位

<将来予測>

- ・佐賀の地理的優位性を活かした企業誘致や拠点づくりが重要
- ・アフターコロナを見据え、人々の意識や行動の変化を見越した取組が重要

④ 自然災害・防災

<現状>

- ・気候変動の影響で、気象条件はこれまでとは全く異なるものに変化
- ・県内では、2018年度から4年連続で大雨特別警報が発表され、災害が激甚化・頻発化
- ・1時間20ミリ以上の降雨回数は増加傾向

<将来予測>

- ・世界の平均地上気温はさらに高まっていき、豪雨や猛暑のリスク増
- ・災害に対する平時からの備えの重要性が増す

⑤ 脱炭素

<現状>

- ・2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言
- ・温暖化への対応は、成長の機会と捉える時代
- ・県でもカーボンニュートラルを見据え、県ができる取り組みを官民連携で着実に推進

<将来予測>

- ・カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化をすることが必要
- ・成長の機会を捉え、成長が見込まれる分野の育成・集積が重要

⑥ 経済環境の変化・経済安全保障

<現状>

- ・ロシアとウクライナは、食料・エネルギー等の多くで主要な供給国であり、貿易依存度の違いにより国ごとの影響が異なっている。
- ・県内では、新型コロナにより経営に影響がある企業が約7割あり、また原材料・エネルギーコストの上昇やその上昇を価格転嫁できていない企業も多くあります。

⑦ 労働力

<現状>

- ・本県の有効求人倍率は高水準で推移しており、令和4年は過去最高
- ・働く女性の割合は増加しているが、人口減少に伴い労働力人口は減少。県内は、女性の就業率が全国と比較しても高く、子育て世代の女性の就業率が高い

<将来予測>

- ・全国的に生産年齢の減少傾向は止まらないため、労働力不足はさらに厳しさが増す。
- ・デジタル技術の活用などによる効率化を進めるとともに、地域内からの労働力人口の流出抑制、流入促進を図ることが重要

位置付け

この施策方針は、佐賀の目指す将来（10年後）の姿を見据え、その実現に必要な4年間（令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）まで）の県の方針を示すものです。

また、県が県民やCSO、企業、市町などと協働して取り組んでいくためのガイドライン（共通の指針）となるものです。

毎年度実績評価を行い、施策方針の見直しや新たな取組等の企画立案を行い、それを施策方針に反映させていく「進化型」とします。

この施策方針の関係部分は、次の計画に位置付けます。

- ① まち・ひと・しごと創生法第9条第1項の規定に基づくまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画
- ② 佐賀県知的財産を大切に、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例第4条第4項の規定に基づく基本構想
- ③ 教育基本法第17条第2項の規定に基づく佐賀県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画



- ▶ 「佐賀県施策方針2023-2026（仮称）」素案についての意見募集（4/27～5/16）

佐賀県 パブコメ

検索

- ▶ 「佐賀県施策方針2023-2026（仮称）」素案に関するご質問

佐賀県 政策チーム

TEL0952(25)7541 FAX0952(25)7263
✉ seisakuteam@pref.saga.lg.jp



SAGA2024公式HPから視聴できます！
ぜひチェックしてみてください！